

第39回ふれ愛コンサート in 愛媛

令和元年8月26日(月) 自衛隊愛媛地方協力本部は「第39回ふれ愛コンサート in 愛媛」を支援しました。



最高峰の演奏を披露する中部方面音楽隊

このコンサートは、愛媛の防衛協力3団体が主催となり毎年開催しているもので、今年で39回目になります。今回は、陸上自衛隊中部方面音楽隊(音楽隊長 柴田昌宜3等陸佐)を招へいし、松山市民会館大ホールにおいて行われ、近隣の中高校生や県外から訪れた人も含め、大勢の方が来場し、賑わいを見せました。

当日は快晴に恵まれ、開演前のプレコンサートで来場者を迎え入れ、コンサートは1部、2部構成で行われました。「キャンディード序曲」を皮切りに、「ソプラノと吹奏楽のための万葉讃歌」では鶴3等陸曹の見事な歌声(ソプラノ)で場内は水を打ったように静まりかえりました。2部開始前には、防衛協力3団体から抽選によるプレゼント配布というサプライズもありました。

2部では、演奏者の楽器紹介にはじまり、シロフオン(木琴)のアクロバティックな二重奏や、子供たちに人気の曲「パプリカ」を隊長・隊員らが歌とダンスで披露し、来場者を大いにわかせました。アンコールでは丸い地球がたくさんあふれるように願いがこめられた「まあるく」の演奏で、鶴3等陸曹の歌唱により会場はさらに盛り上がりを見せ、盛況の内にコンサートは終了しました。

今後とも多くの県民に自衛隊への関心をもってもらえるように様々な機会を作り、県民と自衛隊の架け橋となっていきたいと思っています。



見事な歌声を披露する鶴3曹



ダンスと歌を披露する隊長と隊員

護衛艦「うみぎり」艦艇広報の実施

令和元年7月6日(土)と7日(日)に、松山外港第2埠頭3号岸壁に入港した海上自衛隊護衛艦「うみぎり」による艦艇広報を支援しました。

護衛艦「うみぎり」は、あさぎり型護衛艦の8番艦で、艦名は「海上に立つ霧」即ち「海霧」に由来し、呉基地を母港としています。

7月6日の入港時には、多くの方の歓迎を受け、その後行われた歓迎式典では、自衛隊協力団体の各会長等のほか、松山市民部長 津田慎吾氏のご臨席を賜りました。また、産経新聞社やNHK等の報道各社により、新聞記事やニュース番組等で報じられました。

護衛艦「うみぎり」は、入港初日、平成30年7月豪雨から丁度一年であることを踏まえ、艦首旗及び自衛艦旗を半旗で掲揚するなど、愛媛県民への配慮に溢れていました。

両日とも天候に恵まれた一般公開では、制服試着体験、ロープ教室、ラッパ吹奏などの各種イベントに加え、搭載ヘリコプター(SH-60K)及び陸上自衛隊車両(FH70、CCV、偵察用オートバイ、1/2トトラック)を展示し、両日で約4500名の方がご来場されました。



特別公開では、インターネット応募に当選された60名の方を対象として、体験喫食、艦内の見学、乗員との懇談を実施し、満足された様子でした。

この度の艦艇広報を通じ、数多くの方に自衛隊の魅力を発信でき、その存在を身近に感じて頂けたものと思います。今後とも様々な広報活動を通じて、自衛隊の魅力をお伝えしていきたいと思っています。

航空自衛隊美保基地等の研修

令和元年7月29日(月)及び30日(火)、航空自衛隊美保基地、陸上自衛隊美保分屯地及び米子駐屯地の支援を受けて実施し、今回は9名の高校生等が研修に参加しました。

初日は、空自美保基地の概要説明、航空機C-2及びT400の見学、管制塔の見学、愛媛県出身隊員との懇談等を実施しました。特に、管制塔での管制要領の研修時には、管制用語等普段なじみのない言葉に戸惑っていましたが、興味津々な態度で学生等は聞き入っていました。米子駐屯地では、初めてのベッドメイキングを体験し、翌30日には高機動車の試乗体験、後期新隊員教育や格闘大会を見学後、陸自美保分屯地に移動し、航空機CH47の体験搭乗、管制気象隊の見学、パイロット等との懇談を実施しました。懇談では、いろんな経験を話してパイロットになった話や危険な任務に就いたときの経験談、若年隊員との身近な話等に学生等は終始和やかに又真剣な態度で聞き入っていました。

短期間の研修でしたが参加者から「充実した2日間でした」「自衛隊が今後の職業の選択肢の1つになりました」等の所感がありました。



C-2の前で記念撮影

今後とも高校生等に対して実際に見て体験して、自衛隊への理解と興味を深めてもらうため、各部隊からの協力を得て様々な広報を実施し、募集につなげていきたいと思っています。



大学生のインターンシップ研修受け入れを実施

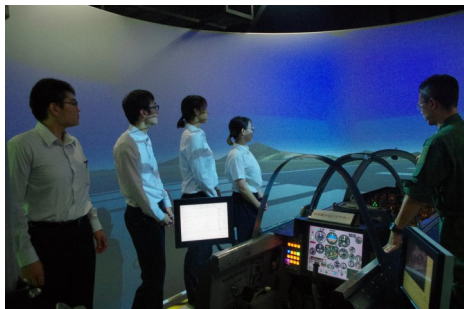
令和元年9月2日(月)から6日(金)までの5日間、大学コンソーシアムえひめが主催するインターンシップに参加し、研修生4名を受け入れました。

初日は「自衛隊を知る」をテーマとし、概要説明、松山募集案内所の見学、愛媛地本の募集の現状等の説明、2日目以降は「自衛隊を感じる」をテーマとし、海上自衛隊呉基地での防水作業体験、潜水艦シミュレーター体験、潜水艦の見学、3日目は、陸上自衛隊海田市駐屯地で自動車教習所研修、油圧ショベル操作体験、警務隊・会計隊研修、4日目は、航空自衛隊防府北基地で消防放水体験、管制塔見学、初級練習機シミュレーター体験等を実施しました。

最終日は「生み出す」をテーマとし、研修生には「令和からの募集広報戦略の立案」という課題を付与して、学生目線からの募集要領を考察していただき、今後の募集広報の参考となる貴重な意見をいただきました。学生からは、「自衛隊のイメージが変わり、将来の職業候補として前向きに考えたい」「今すぐ入隊したい」等の所感がありました。今後とも大学生等に対し自衛隊への理解を深化させ、募集広報基盤を拡充していきたいと思っています。



海田市駐屯地において警務隊体験



練習機シミュレーター体験

多用途支援艦「げんかい」艦艇広報の実施

令和元年7月20日（土）から23日（火）の間、宇和島港坂下津第2号岸壁に入港した海上自衛隊多用途支援艦「げんかい」による艦艇広報を支援しました。

多用途支援艦「げんかい」は、護衛艦や潜水艦等の訓練支援をはじめ、故障艦艇の曳航や離島への物資輸送等、多種多様な任務に対応できる艦艇で、後方支援任務に欠かせない重要な艦艇です。

20日の「げんかい」入港時及び歓迎行事には、宇和島での艦艇広報が初めてということもあり大勢の方に歓迎され、宇和島市長の岡原文彰氏をはじめ、うわじま牛鬼まつり実行委員会の方や、自衛隊に対してご支援をいただいている各協力団体等多くの方々にご臨席を賜りました。

また、21日及び22日の一般公開では、愛媛県内外から約1700名の方にお越しいただきました。艦内では艦橋及び医務室等の見学をはじめ、乗組員による結索教室やラップ吹奏、消火用ホースからの放水体験等を楽しんで頂きました。

一方岸壁では、ミニ制服の試着体験や、陸上自衛隊短SAMや給水支援で活躍した水トレーラ等装備品の展示説明等、子供から大人まで幅広い世代の方に楽しんでもらうことができました。そして、21日の特別公開には募集対象者等20名が参加し、海自カレーに舌鼓を打ち、艦橋や操縦室、揚収用クレーンや複合艇を見学し、参加者は乗組員からの説明に興味深く聞き入っている様子でした。



艦内見学の様子

宇和島市を含む南予地方は、平成30年7月豪雨災害により深刻な被害を受けた地域であり、本艦艇広報は、災害からの復興に市をあげて取り組んでいる宇和島市と、うわじま牛鬼まつり実行委員会の強い要望を受け実施したものです。本艦艇広報を通じて、宇和島市の復興に寄与できたとしたら幸いです。今後とも様々な広報活動を通じて、自衛隊の魅力をお伝えしていきたいと思ひます。

令和元年度上半期定年退官者紹介

◇新居浜出張所 広報官

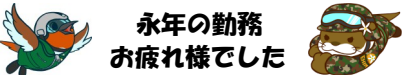
3等陸尉 窪田 直樹

(令和元年8月6日付)

◇総務課 総務係

准空尉 川口 洋一

(令和元年9月25日付)



水中処分母船「YDT04」inひつし市

令和元年8月23日（金）から25日（日）の間、伊予港西岸壁に入港した海上自衛隊水中処分母船「YDT04」による艦艇広報を支援しました。

23日は、中学生の職場体験学習、24日は、募集対象者等に対して海自カレーの体験喫食や体験航海を行い、非常に好評を得ました。

そして、25日は、伊予市商工会議所主催の「ひつしこ市」に合わせて、一般公開を行い、爽快感が得られる複合艇の体験乗艇には、乗艇希望者の長蛇の列がでるほど好評でした。また、陸上自衛隊のCCVやパジエロ等の装備品を展示したほか、海上自衛隊呉地方総監部のイメージキャラクター「くれこ・やまと」が来場者を温かく出迎え、この日の一般公開では約2600名の見学者に楽しんでもいただきました。



もやい結び等のロープワーク体験

本広報を通じて、県民の皆様は自衛隊をより身近に感じてもらい、その活動及び魅力を理解してもらえ意義深い広報となりました。今後とも様々な広報活動を通じて、自衛隊の魅力をお伝えてしていきたいと思ひます。

2019年度愛媛地区合同企業説明会

支援課は、令和元年8月22日（木）に、ホテル・メルパルク松山で実施された「2019年度愛媛地区合同企業説明会」（自衛隊援護協会広島支部主催）を支援しました。

本説明会には、県内外企業30社と来年3月末に退職予定の愛媛県内で再就職を希望している隊員22名が参加しました。

まず午前には、参加企業の内23社が自社をPRするため、約7分間の短い時間を有効に活用し、パワーポイントや動画を利用したプレゼンテーションが実施されました。参加隊員は真剣な表情で、各企業のプレゼンテーションを聞いていました。

午後からは、各企業のブースにて個別面談が実施されました。面談が始まると、参加隊員たちはそれぞれ希望する企業ブースに赴き、企業担当者から説明される職務内容や雇用条件等について真剣に耳を傾け、積極的に質問して、自己のPRに努めていました。



会場内の様子

今後、参加隊員の希望に沿った企業への内定を早期に獲得すべく、隊員に対する就職支援

採用情報

募 集 種 目		応 募 資 格	受付期間	試 験 期 日
自 衛 官 候 補 生	男 女	18歳以上33歳未満の者 (※1)	～10月15日	10月20日（日）
			～11月12日	11月16日（土）
			～12月10日	12月15日（日）
陸 上 自 衛 隊 高 等 工 科 学 校 生	推 薦	男子で中卒（見込含）17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者	11月1日 ～ 11月29日	2年1月5日・6日 ※いずれか1日を指定されます。
	一 般	男子で中卒（見込含）17歳未満の者	11月1日 ～ 2年1月6日	1次：2年1月18日 2次：2年1月31日 ～2月3日
貸 費 学 生		大学の理学部、工学部（※2）の3・4年次又は大学院（専門職大学院を除く）修士課程在学（正規の修業年限を終わる年の4月1日現在で26歳未満（大学院修士課程在学者は28歳未満））	11月1日 ～ 2年1月6日	2年1月25日

※1：32歳の者は、採用予定月1日から起算して3月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない者。

※2：学部については、理学部、工学部に類する学部も応募資格に該当する場合があります。詳しくは最寄りの自衛隊地方協力本部にお問合せください。

イベント情報

(R1. 10. 1現在)

時 期	行 事 名	場 所
10月13日（日）	鬼北でちこんか2019	鬼北町役場裏 奈良川河川敷
10月14日（月・祝）	安全・安心ふれ愛フェア	エミフルMASAKI
10月20日（日）	久万林業まつり	久万公園等
	おおにしフェスタ	藤山健康文化公園
	南レク働く車ショー	宇和島市津島町津島プレーランド
10月27日（日）	きなはいや吉田三万石2019 （吉田産業祭）	宇和島市吉田支所・吉田公民館周辺・吉田児童館
	四国中央子育てフェスタ 2019	伊予三島総合運動公園 体育館等
11月2 日（土）	文化祭	今治明德短期大学
11月 3日（日）	文化祭	愛媛県立川之石高等学校
11月 9日（土） 10日（日）	復興記念防災フェア	エミフルMASAKI
11月 9日（土） 10日（日）	第62回西条市産業祭	愛媛県立西条農業 高等学校
11月10日（日）	桜井・湯ノ浦温泉まつり	桜井総合公園
12月 8日（日）	キッズジョブまつやま2019	松山市総合コミュニティセンター

詳しくは、ホームページやSNSを確認してみてっ!!

